



観て感動！創って感動！
7月13日、猛烈に暑い木曜日の夜、下呂市民会館2階の大会議室で10回めの南飛驒総合健康アリーナ(仮称)ワークショップ(WS)を行いました。参加者は市民19名、事務局スタッフをあわせて33名でした。
この日はまず簡単なおさらいのあと、設計チームから建設検討委員会のレポート。それから「ホールのコンセプトづくり」に向けて、ホールの専門家(株)シアターワークショップの伊東さんよりプチ講座。「ホールで何をしたいのか?というソフト面を考えることが大事!」とお話がありました。
そしてグループごとに1つのコンセプト案を練り上げて社内コンペ形式?!でプレゼンテーション。4班から「ウチのが1番!」と自信を持ってオススメできる提案の発表、そしてCEO役の伊東さんの楽しい講評で...会場は輝く笑顔でいっぱいになりました。



WS10 「下呂らしさって...? よそに負けないホールのコンセプトを提案しよう」

どのグループの提案もすばらしい! どれが1番かは決められないね~!

グループ・コンペ「ホールのコンセプトづくり」

ホールで何をしたい? 味わいたい? など...ひとり一人が考え、わたしカードを作成。そのあとみんなで話しあって、グループで1つのコンセプト(コンテ)をまとめました

コンセプト「タイトル」
このコンセプトの「売り」
このコンセプトにした「理由」
その他



建設検討委員会のレポート

6月16日に行なわれた第4回建設検討委員会で、基本設計案について最終的な承認が得られました。



また、ホールの専門家である名古屋大学の犬月委員からは、「ホールについてもっと検討し、どんなホールが作りたいためか、方向性を定める必要があるのでは?」との提案がありました。

い

してみたい・味わってみたい コンクール、音楽祭 / 一流の芸術にどっぷり浸かりたい / こども達や市民が一生懸命演ずる姿に感動したい / 親子の笑い、こども達のキラキラした目を見たい / 地元の伝説をテーマにしたオペラを創りたい



コンセプト・目玉 皆が楽しめる / 活気のある / 一流の舞台芸術にふれられる / 全国の創造団体からまた来たいと思われる施設とづくり / 多目的なのに音が良い / 市の誇り、市民に愛される

ろ

してみたい・味わってみたい 自分でプロデュースした劇をみんなで演じたい / こども合唱団とミュージカル / 名オーケストラや一流の演奏家と共演 / ウィーンフィル、本格的な演劇なども見たい、見せたい / 講演、映画 / 芸能大会 / 家族で楽しみたい

コンセプト・目玉 一流の地元の劇団ができて、プロの公演も観る事ができて...企画にも参加できる / 何にでも使えるホール / この地域しかないホール / 演奏家とお客が気軽にふれあえる / 飛驒地域にないホール、設備も満点 / ファーストクラスのような超ゆったりシート / いつも何かやっている / 地元の演奏者、学生、こどもたちとの共演 / 地歌舞伎など地域文化の交流の場



創るよこび 観るよこび ふれ合うよこび 活かす場所

(ハード)一流のホールに自分達も立てる! 音にはこだわらず(ソフト)一流の空間で感動を共有。広がる感動の輪が「まちづくりのうねり」となるぞ! 「質の高いものにふれること」創りあげるプロセスを共有すること(同じ感動を共有すること(観る・演じる))。この感動を次世代に伝え育てること。まちづくり、ひとづくりの震源地となれる育ち育み、やがて生み出す下呂の活力! 人の輪、パワー、うねり 観光客だけでなく全ての人の交流をつくる



毎日感動(ひと)を創ります

毎日創って、毎日使って、関わる人が増える
演ずる者と鑑賞者との空間を縮める
創造力を養う芸術の流れ
全ては芸術であり 下呂全体を流れるように



は

してみたい・味わってみたい 演奏やパフォーマンスをしたい / バレエがしたい / こどもからお年寄りまでダンスワークショップ / 素晴らしい演奏や話が聞きたい / ピックイベント / 郷土の演芸や民話の達人を掘起こし楽しみたい / 「観る」楽しみと「つくる」楽しみ(市民劇場?)



コンセプト・目玉 誰でも気軽に使え、中身の濃い事項にも対応できる / いつもにぎやか、元気 / 音響が良い / 市民一人ひとりが主役で使える / まめPODとセットのホール / 「創造」を支援する機能の充実 / みる、つくる、参加する...やりたいことが何でもできる / 郷土の文化の紹介

に

してみたい・味わってみたい 市民劇 / クラシックのコンサート / コンサートを企画 / 音響、照明 / アートプログラム企画

パレエ、映画、お笑い / 楽しい、感動、一体感 / 素晴らしい響き / アーティストやこどもの滞在型プログラムによる作品づくり

コンセプト・目玉 静か / 市民が協力して関わられる楽しい / 音響のよい / 一流の演奏家を呼べる / みんなの企画が気軽に実現できる...親しみやすい / 使いやすい / 創る、発表する、学ぶプログラムが総合的に組める空間 / 市民の活気がある、元気な / 弾むような響き / 交流 / 演出効果、音響効果(反響板) / ホール、棚田テラス、アリーナを一体的に使ったイベント(温泉や宿泊も)湯った!型で



市民が創るハーモニー!

響...市民、感動、音、味...
市民が使いやすい
お気に入りの場所にしよう!
市民がつくる!



「劇場」はお芝居やコンサートをする場所のこと。では、お芝居やコンサートをする場所は劇場でしょうか? 答えは「いいえ」。駅前広場や道路など、いろいろな場所が使われています。演奏が行われている時は仮設の劇場だと考えれば、どんな場所でも劇場になるのです。芸能実演家団体協議会は、劇場を再定義して舞台芸術を「創造」する場所だ

プチ講座
「ホールの性格付けに向けて」
(株)シアターワークショップ
伊東正示さん



「劇場」は必要不可欠なものです。多目的ホールという場合の「目的」は「演目(ジャンル)」のこと。でも劇場の目的は演目だけではありません。よね。普及育成「創造」「交流」、今回の施設なら「まちづくり」「観光」「ひとづくり」「文化の振興」など様々な目的を持っています。ホールを考える時に演目にこだわらざる必要はないのです。

小さい頃、学校で見た演劇に感動した経験はありませんか? ご自分が舞台に立たれた経験はありますか? こいつ経験は、かけがえのないもの。そこにはテレビや映画では味わえない「ナマ」の感動があります。それをこどもたち、孫たち...次世代まで伝えていきたい。そういった「感動」を伝えていく場が「劇場」です!



観て感動! 創って感動!

~文化をトータルに育てます~

憧れのあのステージに立てる!

ホールに親しむ講座・WS

素人でもここまでできる!

先生も生徒も市民

誰かのもの「だったホールを「自分たちのもの」にする!

市民もうれしい! 観光客もうれしい!



第11回 南飛驒総合健康アリーナ(仮称)ワークショップ
WS11 テーマ別向上委員会
~棚田テラスと屋外空間~
棚田テラスと屋外空間をみんなで徹底チェック!
レイアウトやリアプリーなどのテーマに分かれて検証&提案しよう!
7月28日(金)よる7時~下呂市役所 3階 会議室にて

ひとことアンケートより
すばらしい意見がたくさん出ていました。うまくまとまってびっくり! 1人1人の頭の中にあるジャンルは違っても気持ちは一緒なんです。伊東先生のお話はとても勉強になりました。もっと聞きたかったです。人づくり、まちづくりに生かしていきたい / ホールのソフト面は中味の濃い話が出来ましたがハード面で意見があまり出ませんでしたね ほか

<発行>
下呂市役所 建設部 建設課 まちづくり推進室
<編集協力>
㈱日本設計 デザイン・コーディネイトチーム
<お問い合わせ/事務局>
TEL 0576-52-2000 (内線 214) FAX 0576-52-3676
E-mail:satoshi-km@city.gero.lg.jp